

Waseda Vision 150 芸術学校の将来構想の進捗状況報告

1. 2023 年度報告

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

ー各学部・研究科における入試制度改革の実施状況ー

① 広報・学生募集活動推進

本年度はオープンキャンパスおよびナイトオープンキャンパス、製図レクチャー、模型ワークショップ等の少人数型の学生募集活動を全て対面で実施した。教員が志願候補者に直接会い、本校の特徴を入念に伝えるとともに、志願希望者と対話することで本校への志望の度合いを増すことができている。

また、ダブルスクール生の獲得拡大に向け学内での個別説明会の実施を昨年度の3学部（教育学部、人間科学部、国際教養学部）から5学部（昨年度実施学部は文学部、文化構想学部を追加）に増やし実施した。

② 入試制度改革

本年度入学者の分析を行い、第2回一般入学選考（1月実施）について出願期間を延ばし、第2回一般入学選考志願者の増加に繋げた。また、3年次編入学試験については例年第3回一般入試と同日に実施していたが、編入学志願者の増加に鑑み、別日に設定することで志願者の利便性を向上させた。

③ ブランディング

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化すべく、建築関連団体（JIA、JCD等）との連携体制を維持しつつ、著名建築家等による建築講演会や学外展示を昨年と同様に公開性の高い会場にて開催（約800人／3日）し、芸術学校の認知度向上を着実に実現できた。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

ーグローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況ー

① カリキュラム「ASSEMBLE」の新たな展開と着実な運用

多様化する志願者のニーズに対応し、カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アセンブル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の新たな展開として掲げた「テクノロジー・デザイン・ストラテジー＝芸術・技術・理論の融合」に基づき、9つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを維持し、新たな時代のニーズに沿ったコンテンツ（環境・IT分野）の拡充を図りつつ、招聘講師による環境（SDGs）についての特別講義を開催した。また、運営面では授業実施方法について対面をメインに戻しつつ、社会人学生にとって利便性の高いオンライン授業（海外著名講師による講義等の継続）の有り方やオンデマンドコンテンツの利用方法の検討を目的としたワーキンググループを立ち上げ、メンバーに新任教員を含めて継続した。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

ー研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況ー

(記載なし)

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

ー派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等ー

(記載なし)

（５）その他

－（１）～（４）に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等－

① 将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。中長期計画の検討に際しては理工学術院執行部も含めた WG 等の検討の場を活発化（WG は 2 回、教務部への複数回の報告・相談の機会や大学院創造理工学研究科長および理工センター長との個別の打合せも実施）し、具体的将来計画（組織体制の再構築、運営の効率化等）の立案を行い、実現に向けた活発な議論により学内の理解を深めることができた。

② 教育内容の拡充のための創造理工学部建築学科・同研究科建築学専攻との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続、芸術学校在校生への情報提供を積極的に行い、芸術学校出身の 4 名が創造理工学学研究科建築学専攻へ入学した。また、芸術学校出身の大学院生（修士課程 2 年）の 2 名が国際コンペ最優秀賞を受賞し、本年度の小野梓記念芸術賞を受賞する快挙を成し遂げるなど、連携の大きな成果が生まれた。

2. 2024 年度計画

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

ー各学部・研究科における入試制度改革の実施計画ー

① 広報・学生募集活動推進

これまでの募集活動を継続しつつ、優秀な学生の確保に向け、広報活動の抜本的な変革への取り組みを検討する WG を始動させる。特に建築へのあこがれを持つ社会人や文系学生への効果的な広報活動を探りたい。本校に関する情報へのアクセシビリティについて、他校に比して後れを取っている感は否めないため、広告費のフィジビリティを加味しつつ、インターネット上の情報発信についても検討の対象とする。また、建築に関心を持つ本学学生への効果的な情報発信や理工学術院 Web サイトからの流入の仕掛けづくりについても積極的に検討する。

② 入試制度の改革

他校の入試制度の分析を行い、多様化する志願者ニーズに応えるための改善を検討・実施する。特に運用面では社会人志願者の利便性の向上を念頭に置き、志願者増や優秀な志願者の確保に繋げたい。

③ ブランディングの強化

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化する。特に大学院創造理工学研究科への推薦入学制度という独自の進学ルートとその実績をアピールする。また、文系出身者も建築を志すことができ、本学においてその人材育成機能を担う存在であることも強調したい。さらに、これまで取り組んできた建築関連団体等との連携体制の継続や、著名建築家等による建築講演会および学外展示の積極的な展開を維持し、広報戦略とも連携させ、芸術学校の認知度向上を推進する。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

ーグローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画ー

① カリキュラム「ASSEMBLE」の新たな展開と着実な運用

多様化する志願者のニーズに対応し、カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アセンブル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の新たな展開として掲げた「テクノロジーデザインストラテジー＝芸術・技術・理論の融合」に基づき、9つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを維持しつつ、新たな時代のニーズに沿ったコンテンツ（環境・IT 分野）の拡充を引き続き図る。

また、オンデマンドコンテンツ等を活用し、社会人やダブルスクール学生の効率的学習を支援するための試行を実施する。

さらに、BIM（Building Information Modeling）や防災・安全といった社会の先端的ニーズを 2025 年度以降のカリキュラムに反映するべく、検討を開始する。

(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連)

ー研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み計画ー

(記載なし)

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 8 関連)

ー派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等ー

(記載なし)

(5) その他

－ (1) ～ (4) に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等 －

① 将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。引き続き、これらについて検討を重ね、具体的な将来計画の立案を行い、実現に向けたステップアップを目指す。

② 理工学術院（創造理工学部建築学科・大学院創造理工学研究科建築学専攻）との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続する。これらの情報提供強化を積極的に行い、大学院進学者の定着を目指す。そして、他専門学校にはないこれらのメリットを生かす機会を増やすため、このような学術院との連携に新たな制度を加えるべく検討を継続していく。

また、文理融合型の建築人材育成に向けて、以下の可能性を探っていく。

・教員人事や組織上の交流等・芸術学校教員による更なる大学院での研究指導の機会創出による芸術学校卒業生の大学院進学強化

以 上